6 養　教	養　教	解答時間 ６０分	受験番号		氏　名	

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 1　）

1　児童生徒の健康問題に関する健康相談及び保健指導について、次の問いに答えなさい。

問１　「子供たちを児童虐待から守るために−養護教諭のための児童虐待マニュアル−」（公益財団法人日本学校保健会：平成２６年３月）に示されている記述について誤りを含むものを、次の①～④から一つ選びなさい。［ア］

① 児童虐待の対応は、虐待を未然に防ぐための「発生予防」、虐待を早期に発見し、子供の安全確保のための「早期発見と介入」、その後の子供と家族の回復、改善に向けた「介入後の支援」の３つの段階で対応するのが基本となる。いずれの段階でも学校は重要な役割を担っている。

② 虐待と思われる場合は、児童相談所あるいは学校のある市区町村の虐待を担当する部署に通告するよう努めなければならないと、児童福祉法に定められている。

③ 通告は学校等の組織の中で虐待の可能性について協議し、組織として通報する場合と、個人として通報する場合がある。医療・保健・教育・福祉などの各機関では、「組織通告」が一般的となっている。なお通告者の匿名性は法律によって守られる。

④ 学校が要保護児童対策地域協議会への情報提供などの協力をすることは、個人情報保護法違反・守秘義務違反にならない。

問２　虐待は、子どもの心身の健康に影響を及ぼし、健全な発達を損なうことにつながる。次の（１）～（３）の文章中の空欄［A］～［C］に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥から一つ選びなさい。［イ］

（１）［　A　］をコントロールする力は、大人に様々な感情を受け止めてもらい、大人とのかかわりの中で、感情をコントロールする体験を重ねることで育っていく。いつ加えられるかわからない暴力は、子どもにとって自分をどのようにコントロールすればよいかを学ぶ指標にはならない。そのため、虐待を受けた子どもの多くは落ち着きがなく、［　A　］的な行動をとりやすい。

（２）子どもの自尊感情が損なわれ、「自分の存在価値がない」と感じたときに、自分が生きている存在であると感じるために、また、周囲の注意を引くために［　B　］に及ぶ子どももいる。病状の程度の差はあるが、自らの存在価値を信じられなくなっていることには変わりはない。

（３）放置されたり暴力的な環境の場に置かれると、安心して人とかかわれなかったり、新しいことへ挑戦する意欲が失われる。子どもの成長の早い時期に、このような精神的な活動が抑え込まれると、［　C　］を残すことがある。

	A	B	C
①	衝動	ためし行動	注意欠陥多動性障害（ADHD）
②	衝動	愛着障害	学習障害（LD）
③	衝動	自傷行為	知的な発達の遅れ
④	攻撃	ためし行動	知的な発達の遅れ
⑤	攻撃	愛着障害	注意欠陥多動性障害（ADHD）
⑥	攻撃	自傷行為	学習障害（LD）

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 2　）

問３　次の(１)(２)は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引き−令和３年度改訂−」（公益財団法人日本学校保健会：令和４年３月）に示されている記述の一部抜粋である。文章中の空欄［ウ］～［キ］に当てはまる語句を、下の①～⑧からそれぞれ一つずつ選びなさい。

（１）健康相談を実施するに当たり、最も留意しなければならない点は、［ウ］で解決できるものと［エ］が必要なものとがあることである。（中略）課題の把握に当たっては、［オ］をはじめ情報の収集に当たり、養護教諭や学校医等と連携して的確な課題把握に努めることが大切である。

（２）学校医・学校歯科医が行う保健指導は、［カ］としての位置付けが大きかったが、学校保健安全法施行規則では、学校医・学校歯科医・学校薬剤師のそれぞれの職務執行の準則に、「法第９条の保健指導に従事すること」と規定され、［キ］できるように、連携体制が整えられている。

① 健康観察	② 保護者との対話	③ 組織的に対応	④ カウンセリング
⑤ 個別の保健指導	⑥ 医療的な対応	⑦ 健康診断の事後措置	⑧ 積極的に参画

問４　次の(１)～(４)は、「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引き−令和３年度改訂−」（公益財団法人日本学校保健会：令和４年３月）の「資料編　児童生徒の主な心身の健康問題の解説」に示されている疾患の説明である。正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の組合せとして正しいものを、下の①～④から一つ選びなさい。［ク］

（１）思春期早発症には、特発性中枢性といって正常な思春期が異常に早期に発来する場合と、腫瘍などから性ホルモンが異常に分泌される場合とがある。多くは特発性中枢性であり、男子にしかみられない症状である。思春期が異常に早く経過するだけなので病気とはいえないが、身長の伸びが異常に早く止まってしまうので、最終身長（成人身長）が極端に低くなることが最大の問題である。

（２）ＰＴＳＤとは、地震・火事などの被災、事件・事故の被害や目撃、性被害など強い恐怖・戦慄・無力感に襲われるような、生命にかかわりかねない出来事を体験または目撃したことによるショック（トラウマ）が一過性で治まらずに心身両面に様々な後遺症を引き起こしている状態である。ＰＴＳＤの症状はトラウマの発生から数カ月以上たってから現れることがある。

（３）ジャンパー膝とは、ダッシュやジャンプにより牽引負荷が繰り返し加わることで、発症する。骨の成熟により骨端核が癒合すると、症状が消失することが多いが、遊離体を生じてしまうと、骨成熟後も痛みが遷延することがあり、手術を要することもある。

（４）髄膜炎菌性髄膜炎とは、発熱、頭痛、嘔吐を主症状とする疾患である。抗菌薬の発達した現在においても、発症した場合は後遺症や死の危険性がある。アフリカ諸国等では流行的に、先進国でも散発的に発生し、平成２３（２０１１）年には日本でも高校生の寮で集団発生し、１名が死亡した。乳幼児期、思春期に好発する。

	(1)	(2)	(3)	(4)
①	○	×	○	×
②	○	○	×	×
③	×	○	×	○
④	×	×	○	○

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

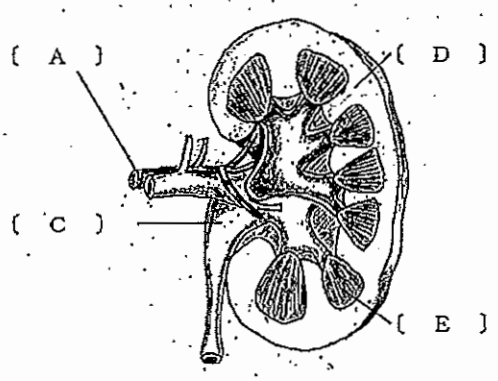
（　１０枚のうち　No.3　）

2　腎臓のしくみや疾患等について、次の問いに答えなさい。

問１　次の(1)(2)は、腎臓の構造とはたらきについて説明したものである。空欄〔A〕～〔J〕に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、それぞれ下の①～⑧から一つずつ選びなさい。

(1) 左右の腎臓には〔　A　〕が流れ込んでおり、心臓が送り出す全血液の約〔　B　〕が常に送り込まれている。〔　C　〕はつくられた尿を集めて尿管に送る合流点にあたり、腎組織のいちばん外側は被膜に包まれ、その表面近くに〔　D　〕、内部に〔　E　〕があり、尿はこれらでつくられている。
ア

	A	B	C	D	E
①	腎動脈	4分の1	腎盂	皮質	髄質
②	腎動脈	2分の1	腎門	皮質	髄質
③	腎動脈	4分の1	腎門	髄質	皮質
④	腎動脈	2分の1	腎盂	髄質	皮質
⑤	腎静脈	2分の1	腎盂	髄質	皮質
⑥	腎静脈	4分の1	腎盂	皮質	髄質
⑦	腎静脈	2分の1	腎門	髄質	皮質
⑧	腎静脈	4分の1	腎門	皮質	髄質



(2) 腎臓の内部は、糸球体と呼ばれる〔　F　〕の束があり、その糸球体はボーマン嚢と呼ばれる袋状になった〔　G　〕に囲まれている。この糸球体とボーマン嚢が１組になったものを〔　H　〕という。糸球体は、おもに〔　I　〕の中に分布している。〔　H　〕は、非常に微小で、左右の腎臓にそれぞれ約〔　J　〕個ずつ詰め込まれている。イ

	F	G	H	I	J
①	尿細管	毛細血管	腎小体	皮質	1万
②	尿細管	毛細血管	ネフロン	髄質	1万
③	尿細管	毛細血管	腎小体	髄質	100万
④	尿細管	毛細血管	ネフロン	皮質	100万
⑤	毛細血管	尿細管	腎小体	皮質	100万
⑥	毛細血管	尿細管	ネフロン	皮質	1万
⑦	毛細血管	尿細管	腎小体	髄質	1万
⑧	毛細血管	尿細管	ネフロン	髄質	100万

問２　学校検尿は、慢性腎炎や糖尿病等を早期に発見し、適切な治療と管理を受けさせ、将来の疾病の重症化を予防するため実施する。「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂」（公益財団法人日本学校保健会：平成２７年８月）に示されている検尿の方法について適当なものを、次の①～⑤から全て選びなさい。ウ　　※ウの欄に全てマークすること。

① 正しい採尿は、就寝前に排尿をさせ、翌朝一番尿を少し排尿してから中間尿を１０ml程度採尿する。
② 前日の夕方からの採尿は、尿中にある細菌が繁殖して、蛋白尿が誤って出たり、血尿が消失したりするので望ましくない。
③ 尿の蛋白反応を陰性化するおそれのあるビタミンCを添加したお茶やウーロン茶、ビタミンCの含有量の多いジュースや薬剤は飲まないように指導する。
④ 蛋白尿は６～１２時間後に陰転することがあるので、検査は採尿した当日（採尿後５時間以内）に完了することが望ましい。
⑤ 女子で採尿日が生理日の前後１～２日であれば、採尿させて検査する。

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 4　）

問３　学校検尿で確定診断がついた後、要管理となった児童生徒には、Ａ～Ｅまでの５段階の管理指導区分の下で生活指導を行う。次の(1)(2)は、「腎疾患児学校生活管理指導のしおり　令和２年度改訂」(公益財団法人日本学校保健会：令和３年３月)に示されている学校生活管理指導表の見方に関する記述である。この記述に相当する指導区分として適当なものを、下の①～⑤からそれぞれ一つずつ選びなさい。

（１）腎臓の病気が活動的で高血圧や浮腫(むくみ)などの症状が不安定な場合に、症状によって教室での学習だけなら受けることが可能と主治医が判断する。一部の児童生徒に対しては塩分の多い食品が含まれる学校給食の制限が必要となり、体育系のクラブ活動、部活動はすべて禁止となる。［エ］

（２）中等度以上の蛋白尿がある慢性腎炎症候群や、正常の半分以下の腎機能低下がある慢性腎臓病で症状が有っても安定している場合に該当する。強い運動は禁止だが、症状が安定している慢性腎臓病患児においては中等度の運動は勧めるべきである。腎臓に負担がかかる肥満を防ぐためにも運動をすすめるが、長時間の激しい運動を伴う部活動は禁止とする。［オ］

①　A　　②　B　　③　C　　④　D　　⑤　E

問４　学校検尿においては、平成４年度から尿糖検査も併せて実施することとなり、糖尿病の早期発見と治療への道が開かれた。次の(1)～(4)は、「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂」(公益財団法人日本学校保健会：平成２７年８月)に示されている尿糖陽性者への対応に関する記述である。正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の組合せとして正しいものを、下の①～④から一つ選びなさい。［カ］

（１）尿糖検査が陽性であった場合、その大部分は糖尿病である。
（２）尿糖陽性者が糖尿病なのか、腎性糖尿なのかを決めるためには、専門機関での尿検査が必要である。
（３）糖尿病は、体内でブドウ糖を利用する力が障害されている病気であり、血糖が上昇しこれが尿の中に排出されるため、尿糖が陽性となる。
（４）尿糖が一度陽性であったが、再検査で陰性だった場合も、毎年検査を適切に行い、その結果を慎重に判定することが必要である。

	(1)	(2)	(3)	(4)
①	○	×	○	×
②	○	○	×	×
③	×	○	×	○
④	×	×	○	○

問５　「学校検尿のすべて　令和２年度改訂」(公益財団法人日本学校保健会：令和３年３月）に示されている糖尿病に関する内容について誤りを含むものを、次の①～④から全て選びなさい。［キ］
※［キ］の欄に全てマークすること。

①　子供の尿糖検査で発見される無症状の糖尿病の大部分は１型糖尿病である。
②　一般に診断時に２型糖尿病では多数(おおよそ８０％)で肥満がみられ、他方１型ではやせ型の(肥満でない)体型が多い特徴がある。
③　精神的な不満を生じさせないため、学校給食は１型、２型いずれの糖尿病であっても普通の子供と同じ量を与える。
④　インスリンで治療している１型糖尿病患児では、食事の摂取量が少なかったり、激しい運動をすると低血糖を起こすことがあるが、インスリンを注射している２型糖尿病患児では起こることはない。

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 5　）

3　感染症について、次の問いに答えなさい。

問１　次の「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について(通知)」(文部科学省：令和５年４月２８日)に示されている(1)～(3)の記述について、〔　　〕内でそれぞれ当てはまる適当な語句を選択するとき、選択の組合せとして正しいものを、下の①～⑧から一つ選びなさい。［ア］

(1) 新型コロナウイルス感染症への感染が確認された児童生徒等に対する出席停止の期間は、「発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後〔a　一日／b　二日〕を経過するまで」を基準とすること。
(2)「症状が軽快」とは、従来の社会一般における療養期間の考え方と同様、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、〔c　全身／d　呼吸器〕症状が改善傾向にあることを指すこと。
(3) 出席停止解除後、発症から１０日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を〔e　義務付ける／f　推奨する〕こと。

①　a－c－e　　②　a－c－f　　③　a－d－e　　④　a－d－f
⑤　b－c－e　　⑥　b－c－f　　⑦　b－d－e　　⑧　b－d－f

問２　学校保健安全法施行規則第１８条に規定されている学校において予防すべき感染症のうち、第二種感染症に該当しないものを、次の①～⑥から一つ選びなさい。［イ］

①　百日咳　　②　インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）
③　麻しん　　④　流行性角結膜炎
⑤　結核　　⑥　水痘

4　養護教諭の役割について、次の問いに答えなさい。

問　次の(1)～(3)は、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと，協働的な学びの実現～(答申)」(中央教育審議会：令和３年１月２６日）の一部抜粋である。文章中の〔　　〕内でそれぞれ当てはまる適当な語句を選択するとき、選択の組合せとして正しいものを、下の①～⑧から一つ選びなさい。［ア］

(1) 健康教育においても、児童生徒等の心身の状況等を踏まえて、〔a　専門性／b　エビデンス〕に基づく個に応じた指導・支援を充実させることにより、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力(健康リテラシー等)を育成することが重要である。
(2) このために、健康を保持増進する全ての活動を担う養護教諭を適正に配置し、養護教諭の専門性や学校保健推進の中核的役割、コーディネーターの役割を発揮し、〔c　組織的な学校保健を展開／d　現代的な諸課題に対応〕する必要がある。そのためにも、養護教諭の無配置校をなくしていくべきである。
(3) その上で、学校医、学校歯科医、学校薬剤師をはじめとする専門家と引き続き連携を図るとともに、健康の保持増進にとどまらず、今日の子供たちの抱える様々な問題に対処する上でも、教育界と医療界が協力して取り組むことが重要である。また、健康診断情報をはじめとする学校保健情報を速やかに〔e　電子化／f　共有〕し、効果的に活用することが今後一層求められる。

①　a－c－e　　②　a－c－f　　③　a－d－e　　④　a－d－f
⑤　b－c－e　　⑥　b－c－f　　⑦　b－d－e　　⑧　b－d－f

6 養　教	養　教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

5　健康に関する指導について、次の問いに答えなさい。

問１　次の(1)～(3)は、高等学校学習指導要領(平成３０年告示)解説保健体育編　体育編に示されている健康に関する内容の一部抜粋である。文章中の空欄［ア］～［キ］に当てはまる語句として最も適当なものを、下の①～⓪からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(1) 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、［ア］面などの変化に関わり、［イ］が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、［ウ］や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できるようにする。

(2) 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う［イ］について理解できるようにするとともに、［イ］には［エ］や［オ］などが関わることについて理解できるようにする。　※［エ］［オ］は順不同

(3) 中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、［カ］、運動やスポーツに取り組むこと、［キ］、地域における交流を持つことなどが関係することを理解できるようにする。※［カ］［キ］は順不同

① 年齢　② 環境　③ 積極的に余暇を活用すること
④ 行動　⑤ 自分の行動への責任感　⑥ 生きがいを持つこと
⑦ 健康課題　⑧ 発達の段階を踏まえること　⑨ 生活習慣
⓪ 家族や友人などとの良好な関係を保つこと

問２　次の文章は、中学校学習指導要領(平成２９年告示)解説保健体育編に示されている感染症の予防に関する内容の一部抜粋である。文章中の空欄［ク］～［サ］に入る語句として最も適当なものを、下の①～⑧からそれぞれ一つずつ選びなさい。

感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを、例えば、結核、コレラ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、麻疹、風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。

病原体には、細菌やウイルスなどの微生物があるが、温度、湿度などの自然環境、住居、人口密度、交通などの社会環境、また、主体の［ク］や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し、感染症が発病することを理解できるようにする。その際、病原体の種類によって［ケ］が異なることにも触れるものとする。

感染症を予防するには、消毒や殺菌等により［コ］、周囲の環境を衛生的に保つことにより［サ］、栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により免疫を付けたりするなどの身体の［ク］を高めることが有効であることを理解できるようにする。

① 生活習慣　② 発生源をなくすこと　③ 治療　④ 発達段階
⑤ 抵抗力　⑥ 感染経路を遮断すること　⑦ 健康への影響　⑧ 感染経路

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 7　）

6　保健教育について、次の問いに答えなさい。

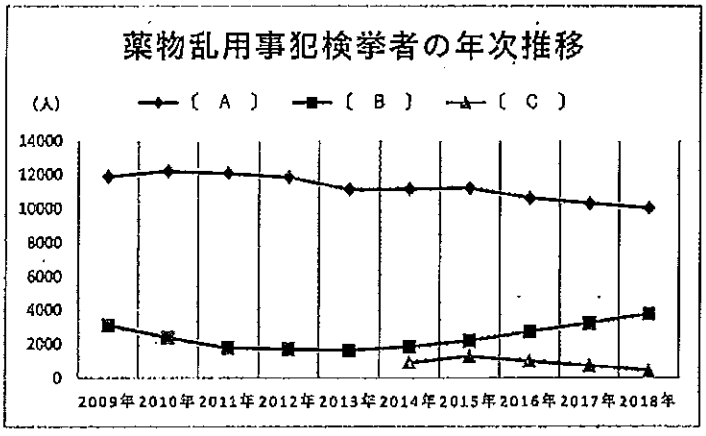
問１　次の文章は、「改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引」（文部科学省：令和３年３月）で示されている性に関する指導の留意点である。文章中の空欄［ア］～［エ］に当てはまる語句を、下の①～⓪からそれぞれ一つずつ選びなさい。

今回の高等学校学習指導要領の改訂では、総則の第１款２（３）において、学校における体育・健康に関する指導に、これまで通り「生徒の［ア］を考慮すること」を示している。また，その解説において、「心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、生徒が健康情報や性に関する情報等を正しく選択して適切に行動できるようにするとともに、薬物乱用防止等の指導が一層重視されなければならない。なお、生徒が心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるようにする指導に当たっては、第１章総則第５款１（１）に示す主に集団の場面で必要な指導や援助を行う［イ］と一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行う［ウ］の双方の観点から、学校の教育活動全体で［エ］を図り、家庭の理解を得ることに配慮するとともに、関連する教科等において、［ア］を考慮して、指導することが重要である。」ことが新たに示された。

① 家庭や地域の実態	② 共通理解	③ 支援	④ 年間指導計画
⑤ 専門的な知見	⑥ 組織的な活動	⑦ 発達の段階	⑧ 連携
⑨ カウンセリング	⓪ ガイダンス		

問２　次の文章は、「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料―令和２年度改訂―（中学校編）」（公益財団法人日本学校保健会：令和３年３月）に示されている薬物事犯に関する内容であり、グラフは、薬物乱用事犯検挙者の年次推移を示したものである。文章及びグラフ中の空欄〔A〕～〔C〕に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④から一つ選びなさい。［オ］

我が国の薬物事犯で検挙人員が最も多いのは〔　A　〕であり、特徴として再犯率が高いことがあげられる。一方、〔　B　〕検挙人員は近年増加しており、青少年を中心に乱用が拡大している。また、深刻な社会問題となった〔　C　〕は取締りが強化され、２０１５年７月には〔　C　〕の販売店舗がゼロになり、２０１８年の検挙人員は減少傾向にあるものの、インターネットを通じた密売ルートの巧妙化や潜在化が進んでおり、引き続き十分な警戒が必要である。



（警察庁、海上保安庁、厚生労働省（厚生労働省集計）調べ）

	A	B	C
①	大麻事犯	覚醒剤事犯	危険ドラッグ
②	大麻事犯	覚醒剤事犯	シンナー
③	覚醒剤事犯	大麻事犯	シンナー
④	覚醒剤事犯	大麻事犯	危険ドラッグ

6 養　教	養 教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 8　）

7 救急処置について、次の問いに答えなさい。

問１　次の(1)(2)の文章について、空欄［ア］～［ウ］に入る語句として最も適当なものを、下の①～⓪からそれぞれ一つずつ選びなさい。

(1) 学校管理下での死亡事故の中では、いわゆる［ア］が半数以上を占めている。［ア］などを防止するためには、まず［イ］などを的確に把握し、それを活かすことが必要である。

(2) 救急車を呼んでから現場へ到着するまでには、約９．４分かかるとされている(消防庁「令和４年版　救急・救助の現況」より)。一方で、心停止から１分ごとに救命率は［ウ］下がるとされており、救急車が到着するまでの間、いかに迅速・的確な救命処置(心肺蘇生)を行うかが命を救う上で重要となっている。

① 熱中症　② 頭頸部外傷　③ 突然死　④ 体格の発育　⑤ 定期健康診断の結果
⑥ 運動能力　⑦ 気象条件　⑧ 7～10%　⑨ 17～20%　⓪ 27～30%

問２　次の事例を読み、この現場に駆けつけた養護教諭がとるべき救命処置として正しいものを、下の①～④から一つ選びなさい。［エ］

体育の水泳授業中、生徒Ａが、泳いでいる最中に突然気分が悪くなり、自力でプールサイドにあがってうなだれていた。様子に気づいた授業者が生徒Ａへの対応を行うと同時に、授業者の指示を受けた生徒Ｂが保健室へ養護教諭を呼びに行った。養護教諭がプールに駆けつけた後、生徒Ａはひきつけをおこし、白眼をむいて意識を消失し、呼吸も見られなくなった。

① 約３０秒かけても、普段どおりの呼吸があるか判断に迷う場合、直ちに胸骨圧迫を開始する。
② ＡＥＤが到着するまで絶え間なく胸骨圧迫を行い、電極パッドを貼り付ける際も胸骨圧迫を継続する。
③ 傷病者の体が濡れていると、電極パッドがしっかりと貼り付かないだけでなく、電気が体表の水を伝わって流れてしまうために、効果が十分に発揮されない。そこで、乾いた布やタオルで全身を拭いてから、電極パッドを貼り付ける。
④ ＡＥＤ装着後、音声メッセージが「ショックは不要です」の場合、胸骨圧迫を中断し、傷病者の様子を見ながら救急車の到着を待つ。

6 養　教	養　教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No. 9　）

8　熱中症について、次の問いに答えなさい。

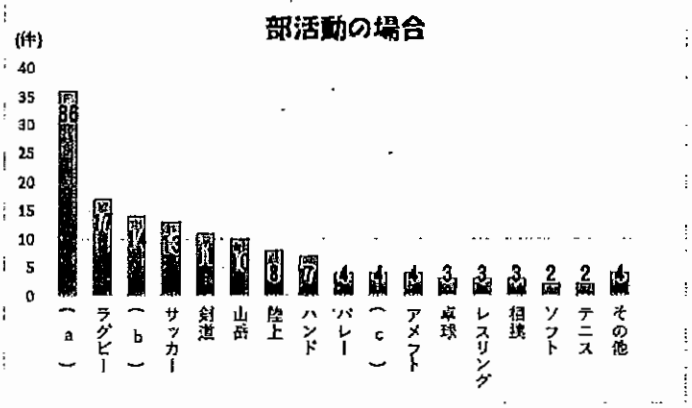
問１　次の文は、暑さ指数(ＷＢＧＴ)計の屋外での正しい測定方法についてのポイントを書き出したものである。空欄[A][B]に当てはまる語句や数値の組合せとして正しいものを、下の①～④から一つ選びなさい。　ア

ポイント　・黒球を日射に[　A　]
　　・地上から[　B　]m程度の高さで測定

①　A　当てる　B　1.1　　②　A　当てる　B　2.1
③　A　当てない　B　1.1　　④　A　当てない　B　2.1

問２　学校での熱中症による死亡事故は、ほとんどが体育・スポーツ活動によるものです。次のグラフは、部活動の場合の発生状況を示したものである。空欄(　a　)～(　c　)に入る種目の組合せとして適当なものを、下の①～⑥から一つ選びなさい。　イ

場合別・スポーツ種目別発生状況（１９７５～２０１７年）



（熱中症を予防しよう－知って防ごう熱中症－（2018）（日本スポーツ振興センター））

	a	b	c
①	柔道	バスケットボール	野球
②	柔道	野球	バスケットボール
③	バスケットボール	柔道	野球
④	バスケットボール	野球	柔道
⑤	野球	柔道	バスケットボール
⑥	野球	バスケットボール	柔道

6 養　教	養　教

全てマーク式解答用紙に答えなさい。

（　１０枚のうち　No.１０　）

9　健康診断について、次の問いに答えなさい。

問１　次の文は、学校保健安全法施行令第二条を抜粋したものである。空欄［　　］に示されている就学時の健康診断における検査の項目として適当でないものを、下の①～⑥から一つ選びなさい。［ア］

（検査の項目）
第二条　就学時の健康診断における検査の項目は、次のとおりとする。
一
二
三
四
五　耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無
六　歯及び口腔の疾病及び異常の有無
七　その他の疾病及び異常の有無

① 栄養状態　② 視力及び聴力　③ 心臓の疾病及び異常の有無
④ 脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無　⑤ 眼の疾病及び異常の有無

問２　次の文章は、学校保健安全法施行規則に示されている内容である。文章中の〔　　〕内でそれぞれ当てはまる語句を選択するとき、選択の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥から一つ選びなさい。［イ］

・毎学年定期に児童生徒等に行われる健康診断の検査項目のうち、小学校の第四学年及び第六学年、中学校及び高等学校の第二学年並びに高等専門学校の第二学年及び第四学年においては〔a 聴力／b 視力〕を、それぞれ検査の項目から除くことができる。

・〔c 設置者／d 学校〕においては、毎学年定期に児童生徒等に健康診断を行ったときは、児童生徒等の健康診断票を作成しなければならない。

・〔e 学校／f 校長〕は、児童又は生徒が進学した場合においては、その作成に係る当該児童又は生徒の健康診断票を進学先の〔e 学校／f 校長〕に送付しなければならない。

・児童生徒等の健康診断票は、〔g 五年間／h 十年間〕保存しなければならない。ただし、児童又は生徒が進学した場合において送付を受けた児童又は生徒の健康診断票は、当該健康診断票に係る児童又は生徒が進学前の学校を卒業した日から〔g 五年間／h 十年間〕とする。

① a－c－e－g　② a－c－f－h　③ a－d－f－g
④ b－c－e－h　⑤ b－d－e－g　⑥ b－d－f－h

問３　「学校保健統計調査－令和３年度（確報値）の結果の概要」（文部科学省：令和４年１１月）に示されている調査結果のポイントとして誤りを含むものを、次の①～④から一つ選びなさい。［ウ］

① 裸眼視力１．０未満の者の割合は、年齢が高くなるにつれておおむね増加傾向となっており、小学６年生では約半数となっている。
② むし歯（う歯）の者の割合は、６歳が最も高くなっている。
③ 身長の平均値の推移は、平成６年度から１３年度まで上昇し、その後横ばい傾向である。
④ 肥満傾向児の割合は男女ともに小学校高学年が最も高く、特に男子は９歳以降１割を超えている。

解答例

6 中・高	養　教

受験番号	

氏　名	

18点

1	記号	正解	配点
問 1	ア	②	2 点
問 2	イ	③	3 点
問 3	ウ	④	2 点
	エ	⑥	2 点
	オ	①	2 点
	カ	⑦	2 点
	キ	③	2 点
問 4	ク	③	3 点

18点

2	記号	正解	配点
問 1	ア	①	3 点
	イ	⑤	3 点
問 2	ウ	①②④	3 点
問 3	エ	②	2 点
	オ	④	2 点
問 4	カ	④	2 点
問 5	キ	① ④	3 点

5 点

3	記号	正解	配点
問 1	ア	④	3 点
問 2	イ	④	2 点

3 点

4	記号	正解	配点
問	ア	⑤	3 点

22点

5	記号	正解	配点
問 1	ア	④	2 点
	イ	⑦	2 点
	ウ	⑤	2 点
	エ	①	2 点
	オ	⑨	2 点
	カ	⑥	2 点
	キ	⓪	2 点
問 2	ク	⑤	2 点
	ケ	⑧	2 点
	コ	②	2 点
	サ	⑥	2 点

11点

6	記号	正解	配点
問 1	ア	⑦	2 点
	イ	⓪	2 点
	ウ	⑨	2 点
	エ	②	2 点
問 2	オ	④	3 点

9 点

7	記号	正解	配点
問 1	ア	③	2 点
	イ	⑤	2 点
	ウ	⑧	2 点
問 2	エ	②	3 点

7 点

8	記号	正解	配点
問 1	ア	①	4 点
	イ	⑤	3 点

7 点

9	記号	正解	配点
問 1	ア	③	2 点
問 2	イ	③	3 点
問 3	ウ	②	2 点

※エ、オは順不同
※カ、キは順不同